

宇部幸楽苑広報紙

## 幸 楽 苑 だ よ り



1月号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑  
発行日：令和6年1月1日  
TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522



謹賀新年  
宇部幸楽苑苑長



医師 前川 剛志



新年あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、健やかに年末年始をお越しのことと存じ上げます。

私が苑長を拝命してから早一年になります。田中苑長の後任として、宇部幸楽苑の現場を受け持っています。関係施設・関連する病院には大変お世話になり、感謝申し上げます。

山口大学医学部を卒業後、麻酔・ペインクリニック・集中治療・救命救急医療の各分野で働きつつ、人材育成にも関って参りました。救命救急などの重症患者さんに接する機会は多かったものの、老人医療・介護・リハビリテーションに直接関与して、改めて医療分野の広いことを再認識しています。

この一年間を通して、近隣の病院

や施設の皆さま方、和同会内の職員の協力を得ながら、また、重症患者管理の知識と技術も生かして、老人保健施設（老健）の医療介護の業務を見直して参りました。当苑の職員は入苑者のために誠心誠意働き、現場主義を貫いていましたので、彼らにも支えられながら、この一年間は順調に運営できました。

今後は、入苑者・ご家族のご意向を重視することは勿論のこと、本年4月からは科学的事実に基づく栄養管理・介護・リハビリテーション・看護・医療に取り組みます（厚生労働省のLIFEに対応）。老健に科学的な背景を取り入れて、職員が働きやすい現場にしたいと思っています。これらのことにより、入苑者とそのご家族に全人的で温かいサービスを提供し、入苑者がお元気になるって自宅や施設に帰ることができる老健を目指して参ります。

地域に根付いた老健、科学的背景を現場に生かす老健、職員が働きやすい老健として、オンリーワンの老健を目指して職員一同精進して参りますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 《運営方針》

- 1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
- 2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
- 3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
- 4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
- 5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
- 6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。

## 《基本理念》

私たちはサービス提供者として、常に、地域社会における入所者様・ご家族並びに利用者の立場に立って考え、最善の行動を致します。

## 「全国介護老人保健施設大会 in 宮城 に参加して」

介護福祉士 2階チーフ 益原 幹人

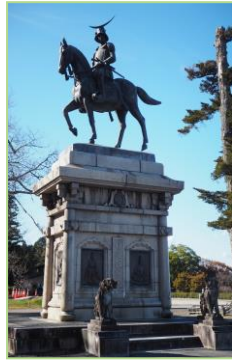
11月21日から22日の2日間かけて全国介護老人保健施設大会 in 宮城に参加するため仙台に行ってきました。

会場には約2500名の方が参加されました。この大会では、シンポジウムや各施設による演題発表等がありました。演題発表はどの施設もとても良く研究がされていて勉強になる事ばかりでした。内容を話せばここでは書き切れないほど多くあるので割愛します。

この大会に参加して、老健の役割として一人でも多くの利用者様を在宅へ帰してあげる為に職員がどんなモチベーションで利用者様と関わって行かなくてはいけないのかを学びました。

老健大会で勉強した事をまた幸楽苑に持ち帰り一人でも多くの利用者様により良い介護が出来るよう職員全員に伝えて行こうと思います。

追伸、夜は参加職員で牛タンを美味しくいただきました。



## 「メリークリスマス★」

理学療法士 富田 康平

今年は暖冬と言われていますが、寒い日が増えてきました。

幸楽苑でも、利用者様より寒いから布団から出るのがおっくうにだという声が多く聞こえます。

しかし、ずっと布団の中で過ごす事が日常になってしまうと、廃用症候群（身体能力の大幅な低下や精神状態に悪影響を及ぼす状態）になる危険があります。

その為、幸楽苑ではなるべく離床してもらうために手芸、工作、ぬり絵、まちがい探し、体操、音楽療法等を実施しています。病気などで出来る事、出来ない事は違いますが、それぞれ一生懸命に行ってください。12月はクリスマス時期でありますので紙皿を使用しサンタクロースと雪だるまを作りましたのを見て頂けたらと思います。



## 「徒然なるままに…」

皆様、明けましておめでとうございませう。時というものは早いもので、あっという間に新たな年を迎えたように感じます。

光陰矢の如しとはよく言ったもので、私が宇部幸楽苑に勤務して一年半が経とうとしています。昨年の今頃は新たに覚える事や職場に慣れる事が、正直やつの事だったように感じます。

私は実に転々と転職を繰り返して来ました。途切れる事はなかったのですが、やはり振り返るとあつと言間でした。あと何年働けるか分かりませんが、六十五歳までは頑張っておきたいと思っています。そういうわけであと十年は元気に働けたらと思います。

全ての方々が今年一年、元気で過ごされますよう、心より願います。本年のご挨拶とさせていただきます。

〔看護師 安部高志〕